

『地域活動体験学習』 実施報告書

第41期 園芸A

令和元年7月5日

土井 修次

高島住民福祉ネットワーク

1) 体験先 『お休み処まちあかり』

代表者 村田 良雄 様

2) 所在地 高島市勝野 1 1 6 6 - 1

3) 体験分野 福祉

4) 体験期間 平成 3 1 年 2 月 1 2 日、
1 9 日、
令和 元年 5 月 2 8 日



5) 体験内容の報告

はじめに

『民生委員・児童委員』として活動中、少子高齢化の中にあって、高齢者がどのようにうるおいのある生活を送っておられるのか、その居場所へ『ボランティア』をとおして体験することにしました。

その居場所は、高島市社協を中心に地域の「民生委員・児童委員」及び「地域住民」が試行錯誤を繰り返しながら、空き家を借用し内装を最小限に施し、家具類等は近隣住民から無償で提供を受けて、誰でも気軽に立ち寄れる「居場所」として開設されてたものです。



【内 容】

■カフェの開設（毎週火曜日の10時～12時）

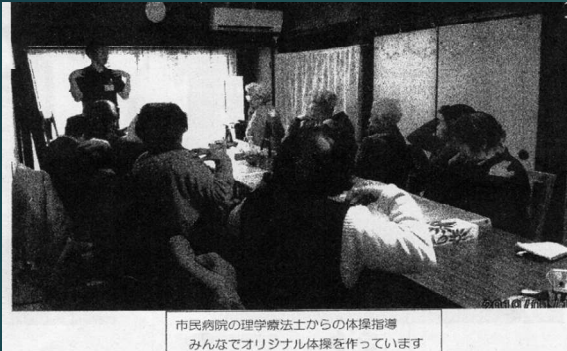


1) 世間話や近況を報告しあい、また、カラオケやゲームでお茶を飲みながら和気あいあいと団欒を楽しむ

2) 1週目 近所のお店の協力により「お食事」と「お買い物」を希望される人に「お買い物日」が設定され、自宅まで送り届けてくれるサービスがある。



【内 容】



市民病院の理学療法士からの体操指導
みんなでオリジナル体操を作っています

3) 3週目 高島市民病院の理学療法士による「体操指導」です。
軽度の体操やストレッチを指導し、健康維持・増進に努めておられる。

■配食サービス（第一・三水曜日）

お一人暮らしの高齢者等に、300円でお食事を届けるサービスがあり、大変喜ばれている。



■子ども食堂 （第三土曜日午前11時30分～午後1時30分）

周辺の子供たちや、時にはご両親を交えて、子ども食堂が開設され、昔の遊びやゲーム等をしながら楽しく過ごしている。

6) 体験の成果・反省点・今後の課題

■成果

主として「傾聴活動」として関わった中で、昔の自慢話や思い出話、カラオケでの熱唱、ゲームをする時の姿は、幼児に戻った時のように無邪気に、いきいきと楽しんでいる様子が見て取れます。それを見て「居場所」の大切さが実感され、こちらも癒されます。

■反省点

体験が3回（3日）と短かったことや、すべての体験が身をもって出来なかったこと。

さらに、もう少し積極性があったほうがよかった。

■今後の課題

このような「居場所」が、多くの地域で、気軽に立ち寄れる身近な憩いの場所として発展してほしいと思います。

機会があれば、これからも参加したいと思います。